



KFR・大阪府立大学大学院工学研究科海洋システム工学分野共催セミナー

## 新しい水槽試験技術

近年の計測技術の急速な進歩により少し前では考えられなかったような計測が次々と実用化され、これを活用して今までは捉えることができなかった流体現象を捉えることで船舶性能を改良することが可能となりつつあります。

今回の KFR 例会では、将来の試験水槽がどのようなものとなるのかも見据えて、最新の水槽試験技術について3人の専門家の方によりトピックを講演していただくとともに、ディスカッションも交えて皆さんと考えてみたいと思います。ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお待ちしております。

KFR 会長 田中 寿夫

— 記 —

### 第345回 KFR セミナー

- 日時：2019年7月16日（火）1400～1700
- 会場：大阪府立大学 I-siteなんば C1  
大阪府大阪市浪速区敷津東2丁目1-41  
<http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/>
- 参加費：無料，要事前登録

#### ・ PIVの基礎と最新動向（西尾 茂：神戸大学）

粒子画像流速測定法（Particle Image Velocimetry; PIV）が実用的な計測法として認知され、応用研究及び実践的な計測に使用されるようになり、約30年が経つ。本講演では、PIVの発展の歴史を振り返るとともに、PIVに関連する最新技術動向の解説を行う。

#### ・ 主機特性及び操縦性能の相似則を考慮した自由航走模型試験法

（北川 泰士：海上技術安全研究所）

海上技術安全研究所では実船との流体力学的相似則を考慮した様々な自由航走模型試験法を開発している。本講演ではその中から、主機応答特性を考慮した推進性能及び保針性能を同時に相似にする試験法を中心に解説する。

#### ・ 波浪中を航走する船の船体表面圧力場の可視化について（岩下英嗣：広島大学）

333個ものFBG圧力センサーを船体表面に貼付し、時々刻々変化する非定常な濡れ面・運動・圧力分布の把握・可視化を行う手法・結果について解説する。

ご参加のお申し込みは、7月12日（金）までに下記連絡先までお願い致します。

またセミナー終了後の17：30から懇親会（場所：宴会天国味園、参加費：一般＝5,000円・学生＝3,000円）も予定していますので、こちらにもぜひご参加ください。

なお、お手数ですが、参加申し込みの際には懇親会への参加希望についても併せてご連絡をお願い致します（懇親会参加の取り消しに関するご連絡は前日までお願い致します）。

ご参加申し込み連絡先：関西船舶海洋流体力学研究会（KFR）事務局  
牧 敦生（大阪大学大学院工学研究科）  
TEL：06-6879-7579 FAX：06-6879-7594  
E-mail：[maki@naoe.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:maki@naoe.eng.osaka-u.ac.jp)

## 会場までのアクセス

(大阪府立大学 I-site なんば HP より転載)  
<http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/about/map/>



## 懇親会場（味園）までのアクセス (KFR 幹事が引率いたします)

(味園 HP より転載)  
<https://universe-misono.co.jp/>



### ●I-siteなんばまでのアクセス

- 南海電鉄「なんば駅（中央出口）」下車、南海線東側の道を南へ約800m、徒歩約12分
- 地下鉄御堂筋線「なんば駅（5号出口）」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分
- 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅（1番出口）」下車、東へ約450m、徒歩約7分
- 地下鉄堺筋線「恵美須町駅（1-B出口）」下車、西へ約450m、徒歩約7分
- 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ420m、徒歩約6分

以上